



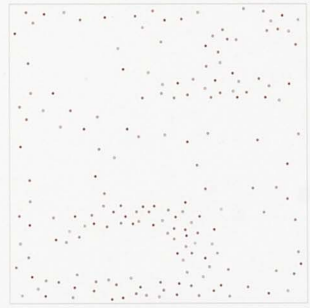
トユモリハウス

雨が育てる住宅

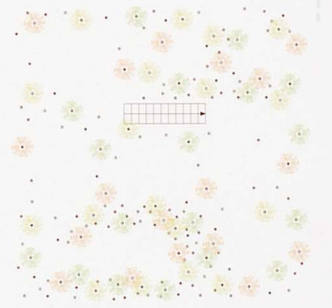
本来、住宅、もしくはシェルターと書かれているものはまず第一条件として雨風から身を守るものでなければいけない。しかし、この住宅、「トユモリハウス」は雨を受け入れる住宅である。そして、雨とともに育つ住宅である。主な構造体として用いたのは、「トユ（雨樋）」の機能を持たせた複数の短い柱である。このトユ（柱）の中には土が入っているものもあり、真った雨をただ屋根で流すのではなく屋根で吸収する。そして一度、雨が住宅の内側を通過し、また徐々に壁外に排出される。その際にあらかじめトユに開けられた小さな穴の中の土に植物の種を入れておくと、そこに雨がしみ込んでいき、雨が植物の栄養源になる。つまり雨が降れば植物が育ち、住宅も育ち、各機能の空間をやわらかく分割・制約することになる。最終的に「トユ」であった「モリ」の中にガラスのボックスが浮かぶことになる。それは住宅が自然に育生したようにも見えるだろう。



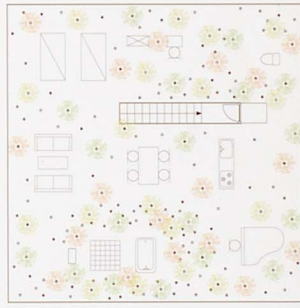
t-3 section S=1:10



ROOF LEVEL

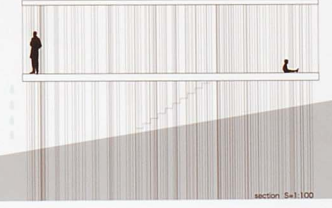


GROUND LEVEL



FLOOR LEVEL

plan S=1:100



section (S=1:100)



銀賞2 「トユモリハウス」 滋賀県立大学 高橋 溪